（第３種郵便物認可）　社会　上毛新聞　平成４年（1992年）４月19日　（日曜日）　（18）

伝説の大蛇出た!?

くねくね30メートル　桑畑にナゾの溝

赤堀町の毒島城跡近く

「まるで電柱」田園地帯にうわさ走る

「大蛇の通った跡？」と、稲垣さん

「大蛇が通った跡だ！」。佐波郡赤堀町の桑畑で、あたかも大蛇が這い回ったような長さ二十メートルほどの溝が見つかった。近くには大蛇伝説で知られる城跡があり、「大蛇の再来」と怖がる住民もいれば、ついには「大蛇を見た」という人も現れて、静かな田園地帯は大騒ぎ！

「大蛇の通った跡だ！」と、佐波郡赤堀町の桑畑で、あたかも大蛇が這い回ったような長さ二十メートルほどの溝が見つかった。近くには大蛇伝説で知られる城跡があり、「大蛇の再来」と怖がる住民もいれば、ついには「大蛇を見た」という人も現れて、静かな田園地帯は大騒ぎ！

桑畑にうっすらと残る、筋、桑の木の間をくねくねと約三十メートル。幅約十五センチ、二十センチほどの溝が延々と続いたものには見えない。深さ二センチほどの段差が出来ており、何やら重いものが通った痕跡があったことは確かだ。

この溝を最初に発見したのは、同じく桑畑に来ていた二人連れの女性（やじ）には近寄れないでいた。見物人も一本当たらない。

十日ほど前、自宅西の桑畑にいた稲垣幸一さん（仮名）が、見つかった溝から西に約二百メートルのところにある雷電神社近くの畑で、ミミズのような跡を見つけた。

「最初は何だか変な跡がついているなと思っていたが、まさか大蛇が通った跡とは…」と言われ、なるほど思った。ほかに考えようがないと稲垣さん。「雨ですいぶん消えてしまったが、見つけた時はもっとはっきりしていた。もし大蛇だったら飲み込まれてしまうと、恐怖を感じない様子。

「このうわさを聞いて見物に来た人は一百人ほどならない。町今の稲垣のねぐらとも。

十日ほど前、自宅西の桑畑にいた稲垣幸一さん（仮名）が、見つかった溝から西に約二百メートルのところにある雷電神社近くの畑で、ミミズのような跡を見つけた。

「最初は何だか変な跡がついているなと思っていたが、まさか大蛇が通った跡とは…」と言われ、なるほど思った。ほかに考えようがないと稲垣さん。「雨ですいぶん消えてしまったが、見つけた時はもっとはっきりしていた。もし大蛇だったら飲み込まれてしまうと、恐怖を感じない様子。

「このうわさを聞いて見物に来た人は一百人ほどならない。町今の稲垣のねぐらとも。

雷電神社は三月中旬から本格的な工事に入っており、現在は一時中断している。

「大蛇の再来」のうわさは、同じく桑畑に来ていた二人連れの女性（やじ）には近寄れないでいた。見物人も一本当たらない。

この溝を最初に発見したの